

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東
 コード番号 6837 URL <http://www.kyosha.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登
 問合せ先責任者(役職名) 経営企画部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,045	3.8	560	6.2	574	△5.3	380	28.1
25年3月期第3四半期	11,606	△2.7	527	17.6	607	17.9	296	△16.0

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 859百万円(145.1%) 25年3月期第3四半期 350百万円(46.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	26.54	—
25年3月期第3四半期	20.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,406	4,701	40.1
25年3月期	10,601	3,926	36.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 4,576百万円 25年3月期 3,816百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	10.1	750	35.5	750	13.5	530	67.5	36.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	14,624,000株	25年3月期	14,624,000株
26年3月期3Q	291,132株	25年3月期	290,769株
26年3月期3Q	14,333,100株	25年3月期3Q	14,333,666株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(連結損益計算書関係)	9
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界の状況は、国内では経済金融政策の取り組みや円安の為替により引続き回復が見られたものの勢いは弱く、海外では中国・アジア等の新興国経済は成長率の低下により先行きは不透明な状況で推移しました。

このような状況の中、当社グループの業績は、国内においては家電製品や電子部品等堅調に推移した分野もありましたが、前年第3四半期の自動車関連分野での減税・補助金等による特需には及びませんでした。一方、海外では家電製品や自動車関連分野の需要が回復し円安の為替も加わり堅調に推移しました。この結果、売上高は12,045百万円（前年同四半期比3.8%増439百万円の増収）となりました。製品別では、片面プリント配線板は、国内外で家電製品が好調だったことや海外で自動車関連分野が堅調に推移したことで前年同四半期を上回り6,694百万円（前年同四半期比12.9%増763百万円の増収）、両面プリント配線板は、国内の家電製品の低迷と自動車関連分野の需要が前年には届かず、3,779百万円（前年同四半期比9.2%減383百万円の減収）、その他の売上高は、搬送用治具がスマートフォン関連で堅調に推移した結果1,571百万円（前年同四半期比4.0%増59百万円の増収）となりました。

利益面については、国内の品質改善や生産効率化と海外での製造設備の自動化推進による省人化や調達コストの削減効果により改善が進んだ結果、営業利益は560百万円（前年同四半期比6.2%増32百万円の増益）、経常利益は実装事業の負ののれんの減少により574百万円（前年同四半期比5.3%減32百万円の減益）、四半期純利益は実装事業子会社の収支改善が進むものの、計画を下回る見込みにより前年同四半期に続き53百万円の固定資産減損損失を計上しましたが、投資有価証券の売却や少数株主持分の減少等により380百万円（前年同四半期比28.1%増83百万円の増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の減少265百万円、受取手形及び売掛金の増加662百万円、有形固定資産の増加303百万円等により、11,406百万円(前連結会計年度末比805百万円の増加)となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、支払手形及び買掛金の減少48百万円、短期借入金の増加567百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少111百万円、長期借入金の減少372百万円等により、6,705百万円(前連結会計年度末比30百万円の増加)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に為替換算調整勘定が433百万円増加したことにより、4,701百万円(前連結会計年度末比774百万円の増加)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、平成25年10月23日発表からの変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,802,799	2,536,868
受取手形及び売掛金	2,612,120	3,274,400
製品	365,488	345,176
仕掛品	281,789	299,090
原材料及び貯蔵品	653,832	625,244
繰延税金資産	86,837	81,561
その他	221,036	304,522
貸倒引当金	△15,748	△21,928
流動資産合計	7,008,155	7,444,934
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,910,556	3,133,239
減価償却累計額	△2,051,140	△2,248,870
建物及び構築物(純額)	859,416	884,369
機械装置及び運搬具	5,913,968	6,675,053
減価償却累計額	△4,544,952	△5,113,142
機械装置及び運搬具(純額)	1,369,015	1,561,910
土地	570,309	698,702
建設仮勘定	51,013	12,536
その他	877,450	972,763
減価償却累計額	△735,719	△835,524
その他(純額)	141,730	137,239
有形固定資産合計	2,991,484	3,294,758
無形固定資産	15,502	26,322
投資その他の資産		
投資有価証券	184,997	212,925
繰延税金資産	69,101	73,245
その他	347,926	354,391
貸倒引当金	△16,061	—
投資その他の資産合計	585,964	640,563
固定資産合計	3,592,951	3,961,643
資産合計	10,601,107	11,406,578

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,355,632	2,307,466
短期借入金	1,454,157	2,021,991
1年内返済予定の長期借入金	708,512	597,390
リース債務	15,822	7,384
未払法人税等	124,355	106,294
賞与引当金	128,221	82,504
その他	364,292	467,081
流動負債合計	5,150,993	5,590,111
固定負債		
長期借入金	1,052,387	679,530
リース債務	3,885	3,122
退職給付引当金	170,852	161,606
役員退職慰労引当金	6,008	—
負ののれん	15,828	—
繰延税金負債	16,143	28,043
その他	258,232	242,716
固定負債合計	1,523,339	1,115,019
負債合計	6,674,332	6,705,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,102,433	1,102,433
資本剰余金	1,153,716	1,153,716
利益剰余金	1,849,848	2,157,366
自己株式	△31,457	△31,544
株主資本合計	4,074,541	4,381,971
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,494	56,447
繰延ヘッジ損益	△564	△7,397
為替換算調整勘定	△287,860	145,568
その他の包括利益累計額合計	△257,931	194,617
少数株主持分	110,165	124,858
純資産合計	3,926,774	4,701,447
負債純資産合計	10,601,107	11,406,578

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	11,606,229	12,045,836
売上原価	9,389,175	9,652,331
売上総利益	2,217,053	2,393,505
販売費及び一般管理費	1,689,377	1,833,092
営業利益	527,675	560,412
営業外収益		
受取利息	1,863	2,216
受取配当金	2,709	2,495
持分法による投資利益	1,737	—
負ののれん償却額	47,486	15,828
助成金収入	33,814	17,284
保険返戻金	26,295	—
雑収入	13,732	14,897
営業外収益合計	127,639	52,721
営業外費用		
支払利息	32,369	24,010
為替差損	4,055	1,253
売上債権売却損	10,304	9,036
雑損失	1,384	3,891
営業外費用合計	48,114	38,192
経常利益	607,200	574,941
特別利益		
固定資産売却益	723	538
投資有価証券売却益	1,613	21,609
負ののれん発生益	26,177	—
その他	139	—
特別利益合計	28,654	22,148
特別損失		
固定資産売却損	416	1,628
固定資産除却損	2,553	3,157
投資有価証券売却損	22	—
投資有価証券評価損	48,149	—
減損損失	※1 75,572	※1 53,173
特別損失合計	126,714	57,959
税金等調整前四半期純利益	509,141	539,130
法人税、住民税及び事業税	176,482	152,654
法人税等合計	176,482	152,654
少数株主損益調整前四半期純利益	332,658	386,476
少数株主利益	35,763	6,061
四半期純利益	296,895	380,415

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	332,658	386,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,116	25,953
繰延ヘッジ損益	546	△7,240
為替換算調整勘定	29,447	453,962
持分法適用会社に対する持分相当額	△34	—
その他の包括利益合計	17,843	472,675
四半期包括利益	350,502	859,152
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	313,789	832,964
少数株主に係る四半期包括利益	36,713	26,187

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結損益計算書関係)

※1 減損損失

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上しております。

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

用途	場所	種類及び減損金額(千円)	
実装事業用資産	三和電子㈱ (岡山県津山市)	建物及び構築物	21,459
		機械装置及び運搬具	16,057
		土地	31,813
		その他	181
		合計	69,512
遊休資産	三和電子㈱ (岡山県津山市)	機械装置	6,060

当社グループは事業用資産、貸貸資産、遊休資産の区分にて資産のグループ化を行い、事業用資産については、事業区分を基準としてグルーピングを行っております。

また、貸貸資産、遊休資産については個別物件単位にてグルーピングを行っております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループ及び遊休資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失75,572千円として特別損失に計上しました。

なお、事業用資産の回収可能価額は使用価値で測定し、遊休資産については、正味売却価額で測定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

用途	場所	種類及び減損金額(千円)	
実装事業用資産	三和電子㈱ (岡山県津山市)	建物及び構築物	16,517
		機械装置及び運搬具	9,722
		土地	26,763
		その他	169
		合計	53,173

当社グループは事業用資産、貸貸資産、遊休資産の区分にて資産のグループ化を行い、事業用資産については、事業区分を基準としてグルーピングを行っております。

また、貸貸資産、遊休資産については個別物件単位にてグルーピングを行っております。営業活動から生ずる損益が継続してマイナスである資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失53,173千円として特別損失に計上しました。

なお、事業用資産の回収可能価額は使用価値で測定しております。

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。